



# 第一礼拝次第

メッセージ: 渡真利彦文牧師  
プレイスリード: 郭永東牧師

前奏  
頌栄  
主の祈り

540

プレイズ

「今ここに」  
「主は今生きておられる」  
ヨハネの黙示録 3:14~22  
(新約聖書 p456)

聖書朗読  
祈禱  
賛美

90

メッセージ  
祈禱  
賛美  
聖餐式

「主の食卓への招き」

270

献金

報告  
頌栄  
祝禱

新生 672b

会衆  
会衆  
司会  
司会  
会衆  
牧師  
牧師  
会衆

司会  
会衆  
牧師



# 第二礼拝次第

メッセージ: 郭永東牧師

聖書: ヨナ書 2:1-11 (旧約 p1446)

メッセージ: 「ヨナの祈り」

プレイズ: 「今ここに」

「主は今生きておられる」

賛美: 新生 544 新生 492



# ファミリー礼拝

メッセージ: 渡真利彦文牧師

聖書: ヨハネ 13:1~15

メッセージ: 「弟子の足を洗ったイエス様」

## <巻頭言>

「ろばの子」

牧師 渡真利彦文

2月3月は梅や桜の開花などで彩られる季節です。キリスト教会は受難節を迎えます。イエス・キリストの受難と復活を記念する、イースター前の40日間を悔い改めと祈り、節制を通してイエス・キリストの苦しみを思い起こし、復活祭に備える季節です。

「わたしは今日も明日も、その次の日も自分の道を進まねばならない。」(ルカ 13:33)と言われた主イエスは、御言葉のように、今日も明日も、また次の日も進みゆかれるのです。

世界情勢を見ますと、まさに聖書が預言する終わりの時代に入っていることがひしひしと感じられます。いつイエス様の再臨があってもおかしくない状況が来つつあります。

主イエスがエルサレムにお入りになられるとき、向こうの村のろばの子を「主がお入り用なのです」として召されたように今日も主はろばの子を「主の用なり」と召されるのです。この箇所を読むたびに私のようなものを「主がお入り用なのです」と言われていることに、心揺さぶられ、喜び奉仕することができるのです。

私は小さく足りないものです、そんな私を神が必要とされておられるのです。自分の力、能力は小さい、しかし、そういう者を主がお入り用としておられるのです。これに気づき応えていくところに私たちの信仰生活があるのです。

あのろばの子が、主の手綱のままに狭い道も、険しい坂も歩み続けたように、主のご委託にこたえ共に主の手綱のままに進んでいきましょう。その時、主は私たちと共に歩まれ、素晴らしい栄光のわざを成されるのです。